滿洲日報

世界音樂全集

樂譜出版界の一大革命！

百曲に僅レコード一枚の價！

世界音樂全集の豫約を發表するや、全日本は忽ち歡呼の聲に漲つた！　青年子女は云ふまでもなく各學校のそして家庭の責任者達が、特に本全集に熱烈な好意と激勵とを寄せられるのは何故か？本全集を他處にしては文化の全き誇りと喜びは絶對に無いからである。同時に生活の眞の美しさと樂しさも有り得ないからである。本全集に寄せられた諸大家の推讃の辭の極く一部を左に掲げる。

世界音樂全集全廿巻目次　本全集一巻百曲を名曲毎に包含

（1）ピアノ名曲集1
（2）ピアノ名曲集2
（3）家庭音樂集
（4）ヴァイオリン名曲集
（5）オルガン名曲集
（6）世界獨唱曲集
（7）日本獨唱曲集
（8）世界合唱曲集
（9）日本合唱曲集
（10）世界童謠集
（11）日本童謠集
（12）世界民謠集
（13）日本民謠集
（14）歌劇名歌曲集1
（15）歌劇名歌曲集2
（16）世界獨唱集
（17）日本獨唱集
（18）日本音樂集
（19）流行歌曲集
（20）音樂大辭典

國民文化進展の爲　東京音樂學校長　乘杉嘉壽

種々な全集が出て、夫々國民の文化の上に大きな貢獻をなして居るが、文化の最高地位を示すべき、我が音樂に關して、未だにその擧がないのは、洵に遺憾に堪へなかつた。此の時全世界名曲を網羅する本全集が現れることは、喜びに堪へない。之によつて我邦音樂が一段の進境を示すであらうことを、心から祝福し且つ期望する。

内側から内耳へ！　日本交響樂團　山田耕作

（前略）「音樂は耳で聽くのだ。」それに誤りはない。が、誤を否定しては「眞に聽いた！」とは云へないのだ。音を「勘で樂しむ。」それだけでは我はもう滿足出來ないのだ。智層の濾過によつて始めてはつきりした音樂の本姿に觸れることが出來るのだ。それには眼の助けが要る。「音樂全集」刊行の企てはこの意味からして實に絶好の機を捕へたと云ふべきだ。外側から耳朶へてなしに、内側から内耳へ！　これは、音樂を眞に理解しようといふ人の忘れてはならないことだ。

豫約募集　内容見本進呈　締切　十月廿五日

略規

▼分賣に應ぜず▼昭和四年十月以降毎月一冊宛配本▼申込金壹圓八拾錢・特製廿錢增（これは最終回分に充當）▼四六倍特大判▼一冊二百五十頁以上▼並製總クロース・特製背革平クロース天金▼並製壹圓八拾錢・特製貳圓▼詳細は内容見本を御覽下さい。

第一回配本　門馬直衛編　世界獨唱曲集　十月三十日
第二回配本　山田耕作編　日本獨唱曲集　十一月中旬

東京日本橋呉服橋通　振替東京二四八六一　春秋社

假名發音最新佛和小辭典

慶大教授　前田越嶺先生編

▽袖珍總革製▽六百五十頁餘▽定價二圓三十錢▽送料書留十八錢

見よ！これぞ佛和辭典の一大權威書!!!　著者積年の檢討により新時代の要求に應ずることを基準とし併せて初學者の利便に供するやう努めたもので其獨得なる諸點を擧ぐれば

▽片假名にて出來得る限り正確且つ容易に佛語の發音をなし得ること
▽從來の佛和辭典にある常套を脱して獨創的記述を試みたること
▽小辭典の名稱を附するに當つては勢ひ日用稀有の用語を省くの止むなきに至つたが其代償として譯語の豐富なること
▽懇切丁寧なることは在來の如何なる大辭典にも優れ、凡そ一語の含有する意義は悉く收めて餘すところなく、今義は勿論古義をも網羅して遺漏なきを期したること

最新刊

前田越嶺先生五名著

佛語初歩獨修　初學者には最も必要なる新式獨修書。各語全部に發音の仕方と讀方とを加へて文典自修法をふくむ。　四六判布裝約二百頁　定價一圓　送料書留十八錢

最新佛蘭西語獨修　佛語獨修者には是非とも必要な好伴侶で、佛語に關する一切の知識は全部まとめて一巻をなしてある。　四六判布裝五百數十頁　定價三圓　送料書留十八錢

佛蘭西文法獨修　語の研究と句の研究との二篇に分れて佛文法に必要なる要點は悉く收めて重要事項を附錄とした。　四六判布裝二百五十頁　定價一圓六十錢　送料書留十八錢

最新佛和會話　第一篇單語第二短句第三會話第四俚諺に分類して凡ゆる場合に應ずる實際會話の實用で且辭典で交典だ。　新形布裝八百四十頁　定價三圓　送料書留十八錢

羅句語初歩獨修　伊、佛、西、葡、ルーマニヤ語の直接母語たるラテン語は語學を研究する上から是非共必要な關門。　四六判布裝約七百頁　定價三圓八十錢　送料書留八十七錢

最新ロシヤ語獨修

山内封介先生著（最新刊）

▽新形布裝美本▽二百三十頁餘▽定價一圓五十錢▽送料書留十八錢

勃然たるロシヤ語研究熱

本書は社會の要求に應じて出たものである。秘鍵は内容を單純化することが必要であるが、學獨修書と言へば外國語學修を專門とする人々の參考書樣のものであつた。これでは獨修者に解らない。本書は此の點に注意したもので誰にも覺えられるロシヤ語獨修であることを此の書の目標としたもの。語學獨修の從來のみの參語本

目錄進呈　東京市神田南神保町　振替東京一九三四四　尚文堂

車軸油

商標 G.Y.

大連市紀伊町五五番地　合資會社　矢野元商店　電話長八三五八番　七四一三番

營業品目

揮發油　石油　機械油
重油　車軸油　植物油
魚油　サラダ油　油類一切
テキサコルーフイング、ピッチ
龍印ボイラーグラハイト
ペイント

學生募集

大連自動車學校

毎月一日開始

就職の近道

紳士的でモダーンなる職業月收百圓内外のスラフル最適それは自動車界のみの特典である

晝間部　午前九時より　午後四時迄
夜間部　午後六時より　午後八時迄

山縣通二〇〇　電話二三四五番

短期卒業（二ケ月で斯界に活躍す）

實力本位、學費低廉、卒業後就職紹介、責任を以て引受く
免許試驗常に一頭地を拔く
受驗の時は教師付添ひ無料貸與
内容施設は在學生に付き確認せられよ

女子部特別開設

人生如何に生くべきか

日本大學文學部講師　石丸梧平氏著

▽四六判函入▽參百五十頁▽價一圓廿錢

やさしい言葉で人生の根本問題を語る。

内容一斑

第一篇　學問とは何ぞや　人間は何處から來て何處へ行くか
第二篇　人生如何に生くべきか　（一）人間觀の主題　（二）人生の考へ方　（三）事實と價値　（四）文化生活とは何ぞや　（五）道德とは何ぞや
第三篇　主義・禁斷の實と十字架の論理
第四篇　新時代の宗教觀
第五篇　人生問答各十六　（一）煩悶を新生へ　（二）幸福は何處に　（三）現實を掴む力　（四）愛の創造　（五）人の性は惡か　（六）資本主義と勤勞　（七）女と酒　（八）傾く家運　（九）結婚生活　（一〇）人事複雜　（一一）友人なく　（一二）背教者　（一三）職業問題　（一四）女教師生活　（一五）貧苦　（一六）病苦　（一七）無所有生活の憧憬――その他――

人生創造　石丸梧平個人雜誌　石丸梧平・書世子編輯
生きて行く道　◇四六判　◇一冊二十錢　◇半年分一圓二十錢　◇見本希望者は郵券十錢封入申込

青年期の性慾問題　◇四六版函入・四百頁・價一圓三十錢

愛の苦行（感想集）　石丸喜世子著　◇四六版函入二百四十頁　◇價金八十錢

東京市神田表猿樂町二番地　振替口座東京八〇八九八番　人生創造社出版部

新しい病人の食物料理法

國立榮養研究所前研究部員　村井政善先生著　最新刊

定價壹圓五拾錢　送料八錢　中判四百頁

食物一つで病氣が治る最新研究の發表!!

病人食物と保健榮養

△病人の食物に就いて
△各人の要求するカロリー量
△白米食と他米食七種
△御飯の炊き方各種と色飯廿八種
△煮出汁の取方と味噌汁の仕立方十一種
△お粥のつくり方十種
△おぢや十種とその拵へ方
△重湯十二種いろいろ
△流動食の標準獻立表
△スープの拵へ方十二種
△保健食餌の標準十二ケ月獻立表

下記の患者向き食料療法

△胃カタル　△胃アトニー　△胃擴張　△胃痛　△胃潰瘍　△胃酸過多症　△腸カタル　△盲腸炎　△腸結核　△常習便秘　△下痢症
△肺結核　△心臟病　△腹膜炎　△腎臟炎　△肋膜炎　△腺病、淋巴腺炎　△胃健務　△肺炎　△糖尿病　△脚氣　△腦神經衰弱

東京京橋　實業之日本社　振替東京參貳六番

アルゼンブルトーゼ

體質の根本的改善
神經性疾患　高度貧血に

神經衰弱　其他の神經系諸病　結核性腺膜炎　虚弱なる小兒　急性慢性病の恢復期　皮膚病

FRANK DOBSON

B-177

三井保險

火災、海上、運送、自動車

契約高の多少に拘らず御電話あり次第係員參上御相談申上ます

三井物産株式會社　大連支店　大連市山縣通一八二番地　電話代表七一〇一番

ウオーターマン萬年筆　アメリカントランプ　直輸入

Waterman's Ideal Fountain Pen

大連市大山通り浪速町角　滿書堂文具店　電話六〇三〇・四四九四番

大連市大山通　滿書堂書籍部

大連市浪速町　大阪屋號書店

最新刊

荻原朔月著　奥の細道通解　實價一圓五錢送料六錢
宇野千代著　新選宇野千代集　實價一圓五錢送料八錢
エコノミスト編　金融資本日本戰　實價二圓十錢送料十二錢
井上準之助著　全日本に叫ぶ金解禁　實價一圓五錢送料六錢
太田寛著　面白く修養になる讀で史上實談逸話集　實價一圓八十九錢送料十二錢
岡田善敏著　衞生重要問題解答生理全集　實價五十二錢送料四錢
花田比露思著　歌に就いての考察　實價二圓十錢送料十錢
田邊一子著　プロレタリア意識の下に　實價五十二錢送料四錢
三浦關造著　神性の體驗と認識　日本より全人類へ　實價二圓六十二錢送料十二錢
阪東三郎著　日本鑛業法　實價三圓十五錢送料十六錢
横山有策著　シエクスピア　ハムレツト物語マクベス物語　實價一圓五十七錢送料八錢
飯塚米雨著　日本畫の見方　實價一圓八十九錢送料十二錢
北原義江著　油畫の研究　實價一圓二十六錢送料四錢
婦人之友社著　婦人の手藝エンサイクロペヂア革細工　實價一圓五錢送料八錢
福井節子著　歌集のおもかげ　實價一圓五十七錢送料八錢
田中貢太郎著　奇談全集　實價一圓五十七錢送料八錢
宗伏高信著　アメリカと其經濟文明　實價一圓六十八錢送料八錢

最新刊

喜多壯一郎著　カフエー・コーヒー・タバコ
寺風館著　小學高等新算術の第一年　實價三圓十九錢送料十二錢
中村喜元著　鑛業法全集　實價一圓十五錢送料十錢
里見弴著　今年竹　實價一圓五十七錢送料十二錢
井上準之助著　全日本に叫ぶ金解禁　實價一圓五錢送料六錢
西原柳雨著　川柳風俗志　實價三圓九十九錢送料十一錢
大泉黒石著　怪趣綺談燈を消す
澤田謙著　マクドナルド勞働宰相
片倉藤次郎譯　夢物語社會主義
エフ、セムコフスキー著　唯物辯證的論證
スチイブンスン著　全譯ニユーアラビアンナイト　實價一圓五十七錢送料六錢
尾山篤二郎著　長塚節歌集　實價一圓五錢送料六錢
有江堂著　獨和小辭典　實價四圓七十二錢送料六錢
北原白秋著　銀の花笛　實價一圓五十七錢送料四錢
大橋裸木著　蕪村俳句集　實價五十二錢送料四錢
井上康文著　詩の作り方　實價三十六錢送料二錢
山村暮鳥著　詩集月夜の牡丹　實價八十二錢送料四錢

宮柱太しり立つ新宮に 皇祖の神靈鎭らせ給ふ

昨夜、夜をこめて行はせ給ひし 内宮遷御の御儀

【東京二日發電】神ながらの皇國の國傳へに傳へ行く最重の儀式たる内宮遷御の御儀はとどこほりなく終らせられた、この日昭和四年十月二日、神路山の秋ふかく五十鈴川の水淸らかにさながら太古のごとく森嚴なる神域に於て、夕闇ほのかにせまる頃より烏羽玉の夜を籠めて行はせられた、數々の御儀の樣こそはまことに尊き極みのものであつた、かしこくも聖上陛下には勅使を御差遣遊ばされ以下參列の文武百官いづれも襟を正し頭をたれて御儀の尊崇なるにそゞろ感激したのであつた、神宮の明衣の姿もかしこし、宮柱太しく皇祖の御靈とこしへに鎭みませと祈りの聲は全國津々浦々の涯りにあふれた

聖上、庭上に下御 畏し神宮を御遙拜

秩父宮殿下を始め各皇族殿下 出御の陛下に扈從

古宮より新宮にうつらせらる皇大神宮の神儀、まさに古宮の階を地上に降立たされる、二日の午後八時、神宮を御遙拜遊ばさるべく天皇陛下は、これに先き立つ午後七時半、折柄の夕闇深くとざし神域まこと大古の儘にある賢所に進ませ綾綺殿に入御の上、甘露寺侍從等の御介添へにていとも神々しき黃櫨染の御袍、御束帶の御祭服に御召替へあらせ、やがて本多掌典次長の御先導、關屋次官、林式部長官以下侍從同武官等供奉にて神嘉殿に出御あらせられた。秩父宮殿下を始めとして各皇族殿下にはいづれも、御正裝に威儀を正されて南庭に出御の陛下に扈從し奉る。天皇陛下には御笏を執らせ、寶劍、神璽捧持の侍從を隨へさせて假屋に入御、供奉の諸員屋外に候しまいらせば、畏くも陛下には玉座に御端座、神儀古宮を出でます八時を期して、御敬虔な御遙拜を遊ばされ約五分にわたり庭上下御にての崇祖のまことをつくさせたまふた。かくて陛下には出御に同じ供奉にて宮城に入御遊ばされた、尚皇后陛下には御服喪の爲め御遙拜の事あらせず、皇太后陛下には東御所の御内儀に於て御遙拜あらせた。

庭燎燃える神域に 神々しき遷御の儀

出御の準備は整ふ

伊勢神宮の第五十八回式年遷宮の儀中内宮遷御の儀は二日夕刻より深夜にかけて神氣一入澄み渡る神路山の宮域深くいとも森嚴に取り行はせられた、正午先づ新殿の御飾りの儀があり時移るに從つて奉拜の民衆は五十鈴川のほとり表參道の兩側をうづめ參列の濱口首相、安達内相、山本大勲位、内田伯以下の文武顯官は大禮服姿美々しく續々と參入する、やがて神域の森に夕闇やうやく迫る午後四時靜寂を破つて諸員の參集を報ずる第一鼓が鼕々と鳴り渡れば神儀奉遷の大役を奉仕される勅使九條掌典長は星野掌典以下宮内屬を從へて勅使齋館を出で祭主、久邇宮多嘉王殿下、三條西大宮司以下祭儀奉仕の神官、供奉員、參列員等總數四百五十名は肅然と神宮齋館の前庭に參集した

續いて第二鼓 て參進の列を整

へると共に正殿、新殿の祭儀の諸具は全く辨備され、午後六時千古の森にこだまする第三鼓を合圖に參進は開始された、九條勅使、久邇祭主宮殿下、三條西大宮司、熊谷少宮司は夫々定めの祭服を着けた禰宜以下の神官百六十餘名と共に參進し供奉の濱口首相、安達内相、潮次官、池田神社局長、原田三重縣知事其他神社局、造神宮使廳高等官は衣冠の裝ひを正し參列の倉富、平沼樞府正副議長、德川貴族院議長、牧野内府、鈴木喜三郎、水野錬太郎、小橋文相、大隈信常侯、鈴木書記官長、上原元帥、一條公爵、若槻禮次郎、床次竹二郎、一木宮相等の顯官及び民間代表村山、三井、光永、岩崎、頭山、本山の諸氏、府縣知事市町村長代表等二百五十餘名は大禮服又は正裝の威儀を正して之に從ひ總員靜々と表參道の白砂をかんで參進する、時に老杉の下枝を照らしてあかあかと燃える庭燎と共に神域には十六花瓣の

菊花御紋章入りの高張提灯が

一齊に點火せられて神々しさ言はん方もない、之より先き一箇大隊の儀仗兵は板垣御門外の所定の位置に整列し參進の勅使以下は第二鳥居外にて修祓を受け、進んで新宮の御前に當る參道に於て、勅使、掌典、祭主、大宮司、少宮司、禰宜の順に各々榊木に木綿をつけた太玉串を受けて左右に二枚づゝ捧持し板垣南御門より參入、中重の版に着き參列の諸員は板垣御門内の定めの席に着いた、かくて先づ内玉垣御門下に太玉串奉奠の儀あり次いで九條勅使、久邇祭主宮殿下以下奉仕の神官は靜々と内院に參入、定めの版に着けば勅使九條掌典長は

正殿の御階下に進んで嚴かに

遷御の御祭文を奏申し畢つて愈々渡御の儀に移る、先づ三條西大宮司、熊谷少宮司は伶人の奏樂裡に謹んで正殿の御階を昇り御宮を開き奉れば久邇祭主宮殿下、三條西大宮司熊谷少宮司及禰宜は殿内に祗候して遷御の御準備を奉仕しやがて九條勅使は御階の下東方に、久邇祭主宮殿下は西方に直立さる富屋禰宜の朗々と讀み上げる召立文に隨ひ前陣、後陣の執物奉仕の神官は新調の御裝束、神寶を執つて整列、行障、絹垣を御扉の口に寄せてこゝに全く出御の準備は整つた

神儀滯りなく 新殿に入御

遷御の儀畢らせらる

かくて正八時、瑞垣御門下にて天ノ岩戸の嘉例に從ひ、宮掌が扇を以て冠を三度ハタハタと叩き、宮域一體に水を打つた如き靜けさのうちにカケコウ、カケコウと高らかに三聲鷄鳴を唱へ奉れば勅使は御階の前に進んで嚴かに出御を三聲奏請され、こゝに畏くも神儀は覆面、手袋、肩錦を着けた三條西大宮司、熊谷少宮司、鷹光院禰宜に奉戴せられ、純白の絹を張り回らした

行障絹垣の内に入らせられて

本殿を出御ましました、兩儀の廊下の御道筋には御道敷の白布を敷き、儀仗兵に次ぐ先拂の宮掌二人松明を捧持する秉燭の役四人を先頭に御楯二枚御鉾二竿御靱二腰御弓二張、御鏡四柄、御太刀四柄、御蓋一具の御神寶に次いで伶人十二人が御道樂の神樂歌に笛、和琴、篳篥の幽寂なる音を奏でつゝ進めば、掌典の警蹕に次いで勅使九條掌典長は大御前に先行し禰宜二十人が奉仕する行障、絹垣の内に神儀は靜々と西の新殿へと進ませ給ふ、この時庭燎高張を始め一切の燈火は悉く消され前陣後陣の松明のみ杉の幹に映じ、積翠闇深き宮域はしはぶき一つ聞えず森嚴幽寂究然

神代ながらの 淨暗の地に還り

おごそかに響く神樂歌に神氣ひしひしと身に迫るを覺える、絹垣の後には赤紫綾の御蓋をかゝげ續いて久邇祭主宮殿下供奉され、御笠、御弓、御靱、御鉾、御楯の列に次で最後に御火の役四人、宮掌二人が殿りを承り供奉の濱口首相、安達内相以下は内玉垣御門前から新宮同御門前まで之に供奉して續き最後はまた儀仗兵が御行列を護る、かくて神儀新殿に入御遊ばされ、前陣後陣並に供奉參列の諸員は新宮内の所定の位置に着けば再び召立文に依つて捧持の御裝束、神寶を殿内に奉納し、大宮司御扉を閉ぢ奉り、勅使は御階下に進んで再び御祭文を奏上され、かくて遷御の御儀は滯りなく畢らせられたので、大宮司はその旨を勅使に告げ奉らせ、諸員中重の版に退き、三條西大宮司は

御鑰に封を附けて辛櫃に納め

諸員奉拜八度の後退下し、荒祭宮遙拜所に於て別宮の遙拜をなして一同退出こゝにめでたく内宮遷御の儀は畢らせられた、時に時刻は午後十時を過ぎ、表參道に於て御儀の進行を遙かに拜して居た一般拜觀者は警戒解かれるや我れ先きに新宮の御門前に殺到し、庭燎高張に照らされて白木の香も神々しい御新殿を拜し今更ながら感涙に咽びつゝぬかづいて柏手爽拜するさまは涙ぐましいばかりであつた

儀仗艦伊勢灣にて奉仕

式年祭に儀仗艦として陸奥、山城、日向以下第一艦隊四十餘隻昨一日から伊勢灣に碇泊して居たが、特別警備艦五十鈴之に參加し二日の御遷宮に際し御警衞の任務に當つた、尚同日之等の諸艦は全部滿艦飾を施し夜はサーチライト、イルミネーションを點じ祝意を表した尚之等伊勢灣在泊部隊は二、三、四、五の四日間毎日二千五百名宛の參拜隊を編成し參拜を行はしむる事となつた

秋雨煙る裡に 遷宮式終る

參拜を待上ぐ地方民

【山田二日發電】遷宮祭當日の二日神都山田は晝頃から秋雨がしとやかに降り出して神路山は氣高く五十鈴の川はすがすがしく淨められた、此の雨中に御儀終了を待つて眞先に參拜せんと待上ぐる地方民は二の鳥居近く設けの席に座して時刻の至るを熱心に待つてゐる

遷御の儀に續き 翌日の御儀

神秘な御儀式の數々

二日夜内宮神儀遷御の御儀も滯りなくすませたまひしを以て三日は遷御翌日の儀として早朝午前六時新宮に大御饌奉奠の儀あり次いで午前十時奉幣の儀が行はれる、これは古來一社奉幣と稱へて遷御と共に最も重い祭儀とされ勅使奉納の幣帛を奉じて祭主、大宮司以下神官と共に參進して御祭文を奏し内院に參入して東寶殿に幣帛を納め奉り終つて五丈殿にて饗膳の御儀があつて退下される、續いて午後二時には古殿の幣帛御神寶を新殿に移し奉る古物渡しの行事あり夕刻には新宮内玉垣御門前の神樂舍に御神樂並に秘曲奏奏の儀あり勅使、祭主以下參列して神慮を慰め奉るが就中秘曲奏奏は極めて神秘に屬するもので所作人以外は神樂舍に在るを許されず參列員は一時退出することになつてゐる、これを以て内宮遷御の儀は終了させられるのである

英露國交回復 完全に協定成る

十月四日前に調印か

【イギリス、ルーイス一日發電】イギリス外相ヘンダーソン氏とパリ駐在ロシヤ大使ドブガレフスキー氏は二時間にわたる會見の後その間、外交關係の完全なる回復と共にとるべき手續に關し協定を遂げた、その内には諸種の懸案解決のため大使を交換すること及び宣傳取締に關する取極めがある右會見後ヘンダーソン外相が新聞記者に語つたところによると今回の協定につき英露兩國政府に提示すべき文書は目下作製中であり四日ドブガレフスキー氏がパリに向け歸任の途に就く前、調印できるよう取運びたいと思つてゐるとのことである、また消息通の語るところによると右協定はその實施前イギリス議會の承認を得るを要するはずであると

松田拓相 炭礦を視察

山西炭礦長の案内で 記者團とも會見

【撫順特電二日發】松田拓相一行は二日午前十一時五分、奉天より來撫、途中、深井子驛まで出迎へた山西炭礦長の案内で驛待合室にて撫順官民有志ならびに大分縣人會等の挨拶を受けた後、直に自動車にて古城子露天掘に到り採炭狀況につき炭礦長の說明を聽き正午炭礦ホテルにて記者團と會見、別項の如き談話を試み中食小憩後、二時より製油工場を視察し二時四十五分より約一時間、實業協會における大分縣人會に臨み午後三時五十五分發、列車で奉天へ引返した

撫順炭礦の規模の大きいことを實地に見聞し得るところがあつた製油事業は燃料の自給策として結構である成績次第では第二計畫を認めぬでもない、政變毎に植民地の首腦者が更迭するのは困ると聞くが更迭を餘儀なくせしめるやうな人物はやむを得ぬ適任者なら勤續してよい殊に滿鐵の如き事業會社の理事などは替へぬがよい、奉天では張學良氏と既に二度あつたが若くて聰明なのに感心した

閑院宮殿下 齋藤朝鮮總督に 御言葉を賜ふ

【京城特電二日發】閑院宮殿下には一日、朝鮮博覽會開會式に台臨の後、會場を御巡覽あり、御旅館に入らせられ齋藤總督を召され「大正四年、予は來りて施政五年記念朝鮮物産共進會を觀今ふたたび命を奉じて、茲に施政二十年記念博覽會に臨むこの間、時勢の進步に伴ひ朝鮮が上を擧げて著しく産業文化の發達せるを觀、欣快に堪えず異日、具してこの會の狀況を復命することあるべく、かねて當地の實績に及ばんとす、予は總督を首め官民一般、心を協せて克くこの結果を納めたるを愼ひ更に將來に向つて一層の奮勵努力を望む」との御言葉を賜はり、なほ巨額の社會事業御奬勵金を御下賜相成つた

日英濠の關係と 米國への懸引

日本の脅威を除かんと 濠洲側の方策

【東京二日發電】濠洲は日本海軍の脅威を英本國によつて除去されその安全を保障されることを前提として英、米内交涉の協定を基礎とする五ケ國會議への招請狀を發することに同意し、またマクドナルド首相が日本の濠洲に對する脅威を如何にして排除せんとするかは未だ明かではないが某消息通の觀るところでは日本政府は軍縮に關しては制限よりも縮小を欲し、かねて八インチ砲巡洋艦二十一隻の米國の要求は過大に失する旨を松平大使を通じてしばしば英首相に通達してゐる關係上、英首相は米國の過大な二十一隻要求を日本の援助によつて少なくも十八隻程度に低下せしめ從つて米國に對する日本の七割保有勢力をも低下せしめ以て日本の濠洲に對する脅威を除かんとする方策と觀られると

遙拜式參列

張學良氏の晩餐會に 出席し一時間半懇談

【奉天特電二日發】來奉中の松田拓相一行は二日午後七時から奉天神社において擧行された奉天市民の遷宮祭遙拜式に參列し式後直に北陵の張學良氏別邸において開かれた學良氏の晩餐會に出席し懇談一時間半に亙り歸館した

今期の銀行業績

辛うじて前期程度か

【東京二日發電】今期銀行の營業成績については漸く期の半を過ぎただけであるので從つて數字的に論ずるまでに至つてゐないけれども金利の大勢は前期同樣、低落のまゝで殊に金解禁問題は民政黨内閣の出現により一層その時期を促進したため事業界の新計畫による新規資金の需要皆無の狀態であつたので銀行固有の營業收益は前期に比し幾分低下の見込であり公社債募集事務取扱の臨時收入も前期は三、四月の候に多少あつたが今期は起債計畫不振のため殆どいふべき程のものなくかく積極的收益不良な一面において金解禁接近に伴ひ株式市場不振の結果、公社債以外の株式値下りが相當あり資金を株式に多く運用する銀行にありてはその値下りに對して消却を必要とするものもあるべく、かく觀察してみるに今期銀行の營業收益は前期に比し減少を免れぬも預金コストの低下がこれを緩和し得て銀行の採算は辛くも前期程度を維持し得べしとされてゐる

支那側の案内で 監禁露人を視察

ソヴエト問題となつた生活狀況を

【ハルビン特電二日發】行政府長官公署員の案内で在哈日本新聞記者中山大朝、小林大每、本橋電通、藤本聯合、藏土哈日、大森哈通その他一行十名は藏本副領事と共に二日午前十一時半長官公署に集合し松浦鎭に監禁されてゐるソウエート人民一千百餘名の生活狀態を視察したソウエート政府はドイツ領事を通じ彼らを全部本國に送還するやう交涉した由であるが支那側としては治外法權撤廢を列國に要求せんとする際なれば監禁者の待遇について最近改善をしたといはれてゐる

太平洋會議で 滿蒙問題を議題

支那側躍起とならん

【北平二日發電】本月末京都において開かれる太平洋問題調査會に列席すべき支那側委員二十五名中北方側委員七名は既に決定したが確聞するところによれば支那委員は米國委員の支持を得て本大會に日本の侵略的態度を非難せる東三省關係の廣汎なる報告をなし滿蒙問題を大會の中心問題たらしめんとし目下、該會議準備委員會のため來平中の米國委員と頻りに打合せを重ねてゐる、或は極めて露骨に日本の滿蒙進出を摘發して大會に大波瀾を捲き起すやに懸念され日本側は充分に對策を研究する必要ありといはれてゐる、なほ在支日本人にして大會に列席するものは僅に奉天盛京時報社長佐原篤介、鐵道省北平駐在員金井清の兩氏のみである

人事

△岸田劉生氏（洋畫家）二日入港のうらる丸にて來連星ケ浦ヤマトホテルへ
△田所耕耘氏（滿鐵審査役）同上
△清水義一氏（北大教授）同上星ケ浦ホテル
△ロータリー倶樂部員一行二十名同上
△愛媛縣商工會議所議員一行堀內靜二郎氏外四名　二日入港の樂國丸にて來連
△清元壽滿太夫　二日午前九時に小野鬼笑氏同道朝鮮經由歸京の途についた

極東銀行 事務引繼に

支那側茶々

【哈爾賓特電二日發】支那側はダリバンクの事務引繼にドイツ借款銀行が監理に當ること許されぬと、これはダリバンク一切の業務は行政長官の許可によりて認めらるゝものとの理由による

安樂椅子

ハルビンの張督辦行政長官、監禁中の赤露犯人を虐待するなどといはれては迷惑千萬とあつて、日本側の記者團を招じかくの通りと大見得を切つた▲治外法權撤廢といふゝトもあるので、ヘタなことは出來ぬと大童となつて掃除やら、御馳走に努め、寒空に向ふ折柄で、こんなことなら萬更でもない、支那監獄の御厄介にならうなどの不心得者を出さぬでない、白系露人など頑張つてゐるよりはなどゝ氣を起さすは、餘り感心できぬがとにかく支那側の宣傳と來たら、努力するにはするが、しかし評判して、治外法權撤廢などとは、少し虫がよすぎる▲何といふても、この監獄の狀況を日本の記者團に拜見させ、この赤露の手合、どんな裁判で、どんな刑罰に處せられるも分らず今のところは露支交涉を牽制する人質みたいなものさと鐵面目に相手にされぬところは氣の毒といふものだ

受難時代の政友會 後任總裁は何人に

帶に短く襷には長して決せず 表面は平靜を裝ふ

【東京二日發電】政友會後繼總裁問題は黨内の大勢が犬養氏を擁立するに傾いてゐるがいよいよ現實問題として之を冷靜に判斷するときは、なほ幾多の難關が横たはつてゐる、すなはち犬養氏を後任總裁に推す名目は兎もかく暫定的であることは蔽ふべからざる事實である、而して若し犬養氏が單に目前の便宜主義、功利主義的見地から一時的の平和を得んために出馬を求むるは政友會の長老に對し非禮なるのみならず政友會の前途にも得策にあらず況んや今日の政局は濱口内閣を大敵として控へ近く總選擧により、これと一大決戰を交へんとする重大時機に直面して居りこの場合、單に消極的平和を求めんため犬養氏を煩はすことは實戰に臨み味方の士氣を阻喪せしめ勝敗の上に重大影響を齎すべきことは明かであるこの意味において總裁問題は眞に政友會の統帥者として活動力ある鬪士を求めその人によりて實質的に黨の更生を圖り濱口内閣に對抗して正々堂々たる新陣容を整へねばならぬといふのである、この主張は眞に政友會の前途を憂慮する黨本位の意見であり舊政友會系の人の潛在意識は多くここにあるようである總裁問題に關する黨内の意見は皆それぞれの立場によつて、その主張を異にし中にはその動機の不純なるものさへある程であるが結局この黨本位の主張が勝利を占めるに至るのではあるまいか舊政友會系の長老岡崎邦輔氏の如きは今日なほ遠慮なく床次氏を後繼總裁として推稱してゐるのであるが舊政友會系は一致して床次氏を支持する傾向がある、この政友會の中樞勢力を形成する舊政友會系たる岡崎、山本（条）、望月、山本（悌）、前田、鳩谷氏らは目下、表面、極めて平靜を裝ひ形勢の推移を傍觀しつゝあるも一度、總裁問題につき發言するに及んでは或は意外の形勢を來しはせぬか、なほ床次氏が最近、舊新黨系に對し固く總裁問題に關する策動を戒めたるは大いに黨内の同情を惹いてゐる

床次竹二郎氏

鈴木喜三郎氏

床次、鈴木、中橋氏等 實力派を擁立か

貴族院側の觀測

【東京二日發電】政友會後任總裁は犬養擁立說が盛に行はれてゐるが貴族院側は受難の期にある政友會は結束を維持するに最も稱合よきときであるから姑息的に犬養氏を擁立することを避け床次、鈴木、中橋氏ら實力派中より後任總裁を出し更始一新を圖るべしとしてゐる

時の人 犬養毅氏

犬養長老は 餘りに老ゆ

暫定總裁も考物と

【東京二日發電】政友會後任總裁は依然、犬養氏擁立說、强きも、それは目下のところ左の如き理由により絕對的といふを得ない、すなはち金權政治を傳統とする大政友會を統帥し來るべき第五十七議會に際しては直に總選擧に臨まねばならぬ、しかも今度の總選擧は政友會死活の岐るゝところであるから莫大な軍資金を要するが犬養總裁の下に果して萬全を期し得るか新時代に更生を期せんとする政友會が犬養氏の如き老人をわざわざ拉し來つて國民に見えて如何なる反響を贏ち得るや犬養總裁は結局、暫定總裁たるを免れぬが内外時局、重大の際暫定總裁を設置するが如きは反對黨に乘ぜしむる機會を與へ禍根を將來に貽すものであるこれらの諸點が犬養氏にとり重大弱點でそこに床次、鈴木、中橋、久原氏ら諸勢力に活動の餘地を與へその動きは頗る微妙を極めてゐるから最後の決定までには相當紛爭を見るは明かである

内田久原兩氏 高橋翁に報告

【東京二日發電】京都に赴いて西園寺公を訪問した内田信也氏は二日午前十時半赤坂表町の私邸に高橋是淸氏を訪ひ政友會後任總裁問題につき報告した、次で久原房之助氏は同日午後一時半同じく高橋翁を訪ひ矢張り西園寺公訪問の内容を報告し後繼總裁問題其の他につき懇談したが、久原氏は更に犬養長老を四谷の自邸に訪問同樣懇談を遂げた

速に後任を 西園寺公の意向

黨の統制を圖るのが第一 高橋翁語る

【東京二日發電】久原君は黨を代表し内田君は個人の資格で西園寺公を訪問し田中總裁逝去並に後任總裁問題を報告した顛末を更に私に報告された後繼總裁につき西園寺公の意向は現下の時局に鑑み黨内を紛擾せしめぬよう速かに後任を決めるようにとの意向であつた、公を訪問した人でも各自見方に依り必ずしも一致しないから判らぬが要するに田中總裁の葬式が終つたら成るべく早くそれぞれ私見もあらうが國家的に見て最適の人を決定され度い、此の際前總裁諸君もめいめいの意見を取纏め黨の統制を圖るようにする責任がある

ゆうべ大連市民の 神宮式年祭遙拜式

午後七時から莊重嚴肅裡に 大連神社で擧行

神宮式年遷宮祭の當日なる二日大連神社では[illegible]式場を莊嚴し新饌を細き[illegible]を[illegible]午後七時となるや水野社司[illegible]し終つて玉串を奉りて拜禮し[illegible]有力者、氏子總代等[illegible]時半であつたが、一般市民の參拜者か多かつた

旅順の遙拜式

旅順に於ける遙宮遙拜式は二日午後七時より白玉山麓南道太鳥居前に設けられた式場に於て[illegible]官民數百人參列の上神官の祝詞[illegible]關東軍司令官、官衙學校代表、[illegible]大佐、少年團代表土方觀學及び[illegible]て入時閉式した

英軍ドリブルに攻め 白熱化した前衞戰

大連軍よく追撃して八對八 ラ式蹴球戰引分け

[illegible]

◇前半◇

[illegible]F、Bを拔きゴール前に殺到したが石川巧に拔いて危機を逃れ二十七分漸く中央に返つたがスミスの好キックに直ちに返され二十九分大連陣右側四十碼邊で浦野英軍キックの球を得て左オープン石川にパスノーマークで絕好の好機となつたが石川のパスを森高ファンブルして空しく〇對〇の儘ハーフタイム

◇後半◇

開始後大連森高の突進で英二十五碼に入り浦野、有田にパスしてゴール前に迫つたが英猛烈なF、Wドリブルで盛返したが入分石川英軍T、Bパスの球をインターセプトして英陣に入る、九分、英陣左側でのラインアウトの球を英軍直ちにドリブルして大連F、Bを完全に拔きピックオール、ライト良くフォローしてライト、ポスト直下にトライ、ゴール成る(五點)其後大連優勢に攻めたが十五分左隅ゴール前のドリブルはドロップアウト、英軍直ちに大連側に入り十八分ポスト左二十碼よりのルーズのパスをライト巧みにダズルして再びポスト直下にトライゴール惜しくもならず(三點)大連斷然憤起し二十二分中央線での英軍のパスの失を森高取つて左ラインに沿つて走り浦野にパス浦野巧みに右にガツトしてダルズシポスト直下にトライ、ゴールなる(五點)尙ほ二十五分大連は英軍二十碼邊にFRを得、桂のドロップキックは外れたが北原素早く其の球を押えてトライゴール惜しくもならず(三點)其後英軍憤起し二十七分三十五碼邊、二十九分二十五碼線でフリーキックを得、共にゴールをねらつたが成らず、二十八分スタニラス、ハイパントして攻めたがドロップアウトとなり大連陣に戰ふ中タイムアップで英軍側二十五碼に入りT、Bパスで攻めたが空しく英軍は二十四分、F、W、ドリブルで大連イムアップ閉戰同四時三十分

大連	0	8
	0－0	
	8－8	
聯合軍	8	サフオーク

	大連聯合軍		英軍
FW	口倉	野高	ゴードン
	月咲	上木	ヤクベッド
	邊山	渡西	ブローク
	原川	北金	ビツクオール
	田		ハーベー
			スーザー
			デアロツク
			スタユラス
HB	高川	有桂	カニンガム
			ライト
TB	野永	森石	スミス
			リチヤードソン
			リーフ
			レフロイ
FB	川	浦末中	チヤムバーレン
			ウエスト

◇審笛◇ サフオーク

英軍FWのドリブルは實に立派であり外人特有の快足は常に危機を脫してゐたが矢張りゲームが一體に粗雜であつた、四日午後四時半から行はれる二回戰では一層の白熱戰となるであらう

大連市民遙拜式 ゆふべ大連神社にて

眞犯人はまだ 市內に居る

死力を盡して檢擧する 警官射殺の犯人

大連署巡査射殺事件犯人は一日夜の非常警戒網にも遂にかゝらず全署員の死力を盡す搜査も効なく或ひは事件も迷宮に入らんかとさへ懸念され同僚の不慮の慘事を悼む署員も連日不眠不休の警戒に漸く疲勞の色を招致せんとして來た、高山署長は二日の休みも午前八時から出署し九時より巡査部長以上の

全幹部を

會議室に集め今後の搜査方針を協議するところあつたが正午その終了と共に氏は大要左の如く語る

射殺された吉田巡査の署葬が四日午後三時半からであるからそれまでには是非犯人の逮捕をしたいと全署員は不眠不休で搜査に努力してゐるが今日まで未だ何等の情報がない、不幸葬儀までに逮捕を見なくともこの犯人だけは死力を盡して檢擧する決心である事件發生後既に二日を經過しただけ搜査範圍が擴大し逮捕には幾分困難を感ぜないことはないが未だ犯人は市內に

潜伏して

ゐるものと目星をつけてゐる、目下の嚴警戒網は勿論擴けてゐるが犯人の人相が大體判明してゐるので大連市から外部へ逃すことは萬々なからうと思つてゐる、事件當夜同一箇所で野田巡査が誰何逮捕した某支那人は取調べの結果犯人とは何等關係はないやうであるが未だ釋放には至つてない、犯人の搜査方法も第二段に入つた關係上全署員をその犯人逮捕に集中するわけにはいかないから司法及高等の刑事に主として努力して貰ふこととし時に應じて全勢力を應援せしむべく休養も與へねばならないと思つてゐる、また一方新たな犯罪を起させないことが大事であるため

派出所員

は派出所員の任務に專念して貰ふ積りである、然し吉田巡査殺しの犯人に對しては依然として小崗子、沙河口水上の各署と連絡をとり遺憾なく捜査に當ることは勿論である

澄宮殿下 御祝詞言上

【東京二日發電】皇后陛下御慶事御祝のため澄宮樣には二日午前九時半自動車にて宮中に參內天皇陛下に御對面皇后陛下御安產の御祝詞を言上せられ更に御產室の一部皇子室に在ます第三皇女樣と初の御對面の上十時半御退出になつた、又同時刻北白川宮大妃、竹田宮大妃兩殿下も御參內兩陛下に御祝申上げられた

天勝の初日は 忽ち木戸止

大好評を博す新趣向

七十餘名の大一座を引つれた松旭齋天勝は二日入港のうらる丸で女優軍を先頭に華々しく來連し美しい日本服で町廻りをなし同夜より本社後援の下に市內歌舞伎座に於て華々しく初日の蓋を開けたが、忽ち滿員で八時過ぎには木戸止めの盛況でいづれも大喝采を博し場內は大連艶番美形連の總見をはじめ大賑はひで今回の演し物は呼び物の「五節の舞」を中心に新趣向を凝らしたもの許りで好評湧くが如く大成功裡に第一夜を終つた。【寫眞は埠頭に上陸した美しい女優軍】

故吉田巡査 部長に昇進

功勞章も傳達

三十日午後十時十分兇賊のため無殘な最期を遂げた大連警察署勤務巡査吉田悌璽氏に對する弔意のため太田關東長官代理日下文書課長及中谷警務局長代理西山警務課長は二日午後四時來連、一應大連警察署に立寄り、高山署長より申請中であつた巡査部長昇進、功勞記章下附の傳達をなし同五時四十分高山署長の案內で大和町二三の吉田巡査部長の官舍に赴き靈前に太田長官、中谷局長の香典及殉職給與金、功勞章、巡査部長昇進辭令をそれ〴〵そなへ更に遺族を慰むるところがあつた

日獨兩軍の メンバー決まる

濱田四百米に出場

【東京時電二日發】日獨對抗陸上競技は五、六兩日神宮競技場に於て開かれるが兩軍のメンバーは一日左の如く決定した

△百米 (日)阿武、南部(補缺)吉岡、大澤(獨)エルドラツヘル、ウイツヒマン

△二百米 (日)中島、西(補缺)吉岡、大澤(獨)エルドラツヘル、ウイツヒマン

△四百米 (日)中島、濱田(補缺)木內、岡田(獨)エンゲルハルト、ストルツ 補缺)ペルツア

△八百米 (日)濱田、岡田(補缺)矢柴、久富(獨)ペルツア、エンゲルハルト

△千五百米 (日)北本、津田(補缺)藤木、久富(獨)ボルツエ、ピユツヘル

△五千米 (日)北本、津田(補缺)岸(獨)ボルツエ、デイツクマン

△高障碍 (日)三木、黃(補缺)島織田(獨)トロスバツハ、ワイス

△八百米リレー (日)吉岡、西、南部、中島(補缺)大澤、阿武(獨)エルドラツヘル、ウイツヒマン、ワイス、シユトルツ

△スエーデンリレー (日)大澤、阿武、吉岡、濱田(補缺)中島、西(獨)シユトルツ、エンゲルハルト、ウイツヒマン、エルドラツヘル(補缺)ペルツア

△走幅跳 (日)南部、織田(補缺)飯室、外山(獨)キユツヘルマンラデウツヒ

△走高跳 (日)木村、小野(補缺)能勢、織田(獨)ラデウイツヒ、ウエゲナー

△棒高跳 (日)西田、金成(補缺)織田、望月(獨)ウエゲナー、ケツヘルマン

△砲丸投 (日)高田、齋藤(補缺)沖田(獨)ヒルシエフエルト、ワイス

△槍投 (日)住吉、菅沼(補缺)家永、伊藤(獨)モレス、ラーデウイツヒ

△調整投 (日)板橋、齋藤(補缺)沖田、久內(獨)ヒルシエフエルト、ワイス

文字通りの 白熱戰

先づ今回發表になつたメンバーで眼に止まるものを列擧すると四百米突で第一回發表の際に漏れてゐた滿洲の濱田が入り補缺の中島が正選手となり千五百で津田が正選手となつてゐる事であるがこれは三人の實力から見て當然と言はねばならぬ、棒高跳で三米突九〇餘を跳ぶと言ふ織田が補缺となつて金盛が更はつてゐる、もし織田が日獨豫選での負傷が全癒しないためであるとすれば日本に取つては可なりの打擊であると金盛の實力が織田以上であつたものとすれば優勝確實となつたわけであるドイツ側ではペルツアーが千五百に名を現はさず四百でも補缺となつてゐるが同軍の自信の程が偲ばれる何れにしても高障碍に勝つて短距離に喰込めば文字通りの白熱戰となるであらう

ロータリー俱樂部の 盛大な發會式

內地からも多數參會して 昨夜大連ヤマトホテルで

昨年十一月に創立し本年シカゴの本部より第三千三十七番目として認められたる大連ロータリー俱樂部發會式(チヤーターナイト)は二日午後七時半よりヤマトホテル大廣間に於て擧行された、右チヤーターナイトに臨む爲東京外各大都市の官吏實業家教育家等あらゆる名士を網羅せる內外俱樂部員三菱の常務加藤恭平氏セルフフレーザー會社のフレーザー氏等二十七名が二日入港のうらる丸にて來連したが當地俱樂部も大平滿鐵副總裁を會長とし在連各名士を包含し三十二名、夫れに奉天よりの俱樂部員も入り親睦を交へた

一行は三日に旅順を見學し鞍山湯崗子、奉天と沿線を廻り五日夜の奉天に於けるチヤーターナイトに臨む

永井氏の大雄辯

滿都の大學生を熱狂せしめた永井柳太郎氏の大雄辯！一讀感奮！見よ！雄辯十月號！

劉生畫伯來る

滿鐵の招聘に依り滿洲各地を寫生旁々見物に來た洋畫家岸田劉生氏は二日入港のうらる丸にて來連し星ケ浦ヤマトホテルに訪へば語る

滿洲は初めてゞす、非常に空氣が朗らかにすつきりしたところは內地と異つた感じを受けます星ケ浦も却々整つた良い處ですね未だ市內を自動車で素通りした許りでよく知りませんが途中洋風と支那趣味の混つた家屋を瞥見しましたが面白いと思ひます然し大連も追々日本人の手で修飾されて日本化して行く模樣がよく判ります【寫眞は岸田劉生氏】

奉祝演說を 內相放送

神宮司廳から

【山田二日發電】遷宮祭に參列した安達內相は二日午後六時半神宮司廳內に設けられたマイクロフオンを通じ遷宮祭奉祝演說を行つた此の放送は有線で名古屋放送局と連絡全國に中繼放送された

早大辛勝す

對帝大一回戰

【東京二日發電】早帝野球一回戰は二日午後二時神宮球場に新田、橫澤兩氏審判帝大先攻で開始大接戰を演じて九回に二對二となり、補回戰に入り十二回裏早大漸く一點を得て三A對二で早大辛勝閉戰

四時二十分

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	計
帝大	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
早大	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1A	3A

バツテリー帝大遠藤、小林、早大清水、伊丹

吉長線の 延長許可

寬城子驛へ

【ハルビン特電二日發】吉長線長春驛から寬城子驛に到る連絡鐵道は六粁半、工費は十八萬金ループルで十二月中旬までに終る豫定であるが東支鐵道管理局では敷設の許可をなした

遼陽地方委員

【遼陽特電二日發】地方委員の選擧の結果左の如し

中村信(一三二)古所壽一(一一三)田中幸英(九〇)福田又司(八七)谷口米郎(七七)行田友次郎(七六)青山一雄(七一)福永高助(六一)猿渡源藏(五三)梶屋竹盛(四二)

奉天地方委員

【奉天特電二日發】奉天地方委員改選の結果當選者氏名左の如し

椎野鋒太郎、齋卷快教、井上彥三郎、鯉沼忍、大西榮吉、永田卯吉郎、山本講幹、北爪宣隆、佐奈木卯次郎、坪川興吉、黑尻彌太郎、木谷辰巳、萩原昌彥、賈潤閣、安倍要褒男、尾崎濟、赤塚眞清

朝博觀光團

昨夜無事歸連

本社主催朝鮮博覽會第二回觀光團は豫定の如く二日二十時半着列車にて一同元氣旺盛に歸連した

柳樹屯遠足會

申込本日締切

大連市役所主催本社後援の柳樹屯遠足會はいよ〳〵來る六日の日曜日午前七時四十分大連驛發の列車にて出發する筈であるが右に對する參加申込は今三日限りであるから大連市役所學務課若くは會員券賣捌所へ申込まれたい

けふのラヂオ

昭和四年十月三日(木曜日)

自午前十一時 相場(特產、錢鈔株式、各地相場)

自午後零時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場)ニユース

自午後三時三十分 相場(特產、錢鈔、株式各地相場)ニユース

自午後七時

一、ニユース

二、支那語講座 第二十六課實用支那語會話滿鐵學務課秩父固太郎

三、連絡放送(協和會館)

一、支那劇 一、賣蓮嫁恩維銘、二、四郎探母呂艷琴

四、自局より

五、料理獻立 天氣豫報

當署勤務巡査吉田悌璽九月三十日夜非常警戒勤務中市內千代田廣場に於て匪賊と交戰殉職致候條此段謹告候也

追而葬儀は十月四日午後三時三十分若草山西本願寺にて署葬可相營候

十月二日

大連警察署

葬儀委員長 高山勝司

愛慾の窓（118）

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

結婚（一七）

美知子は一歩々々大地を靴の底に踏み占めるやうにして電車通りへ出ると、通りがゝりの圓タクを駐めた。

「……帝國ホテルまでやつて頂戴な」

さう命じて、彼女は坐席に腰をおろした。胸の底の方が、くらくらと煮え立つてきたやうだ。熱い息が、渇いた咽喉の奥から口腔へげぶくと溢れて來る。彼女は手帛を口にあてながら、何とも云へない不快な臭氣をこらえてゐるのだつた。

自動車は雑沓の巷を、神田のみさき町の裏通りへと外れて、やゝ速力を速めつゝあつたが急に灯影が暗くなつたと思ふと馬鹿にがくんと急停車した危ふく車中の美知子は座席から前踣りにのめるところであつた。ハツとしながら車の扉につかまつて見透すともうその時には彼女の自動車は一團の人に圍まれてゐるのだつた。

「……引摺りおろせ！」

「女だ！このモダーン奴！挨拶しろ！」

「何とか云へ！何をぼんやりしてゐるんだ！」

罵聲が、礫のやうに彼女に向つて注がれてきた。

「……何うしたの？運轉手さん」

美知子は眉をひそめながら、運轉手に訊ねかけた。

運轉手は、しかしもう引摺りおろされてゐるのだつた。

「……降りろ！降りろ！」

「引摺りおろしちまへ！」

扉は荒々しく引開けられた。美知子はもう車内に止まつてはゐられなかつた。不穏な氣配が身に迫つてゐた。

降り立つと、それは或る工場らしい建物の前であつた。高く點つてゐる門燈に照し出されて「小森製版・第一工場」といふ招牌の文字が見えた。

――おゝ、小森製版！先だつてじうから勞働爭議でごたくしてゐるうちの會社だわ！

「……小森製版ですわね？こゝは」

と、美知子は自分を取卷いてゐる勞働者等の群を見廻した。

「……さうさ！しかしそれが手前に何の關係があるつていふんでえ」とドンゴロスの勞働服を着けた髯面の一人が怒鳴り返した「……お前さんに關係のあることはね…お前の自動車が、この小僧ッ子を轢き倒したッてことだけさ！」

一人の少年が、美知子の前に突き出された。青い菜葉服に、黒い鳥打帽を阿彌陀に被つた印刷油とインクに塗れた十五六の少年勞働者であつた。彼は泥にまみれた顏を手で覆ひ覆うて頻りに泣きじやくつてゐたが、手の隙間からそつと美知子の顔を盗み見ると、憎にくたらしく地面に膝を突いてしまつた。

「……痛え！痛え！膝も……それから向脛も……右の腕も……痛ッ痛くつて……」

と、少年は悲鳴を擧げはじめた。

「……すみませんでしたね、ね、運轉手さん、何うしませう？」

と、美知子は場合が場合なのですつかり困惑してしまつた。

「……どうもしようがありませんな、此方だつてちやんと定規のスピードで歩いてたんだし……だしぬけに横からその子が飛んで出たのですからね」

中腹らしく、運轉手は聲を尖らせた。

「何を！……」

「ふざけた言をぬかしやがつたッ！」

美知子の手前や、静まりかゝつた空氣は、運轉手の腹立ちまぎれの言葉のために、忽ち荒々しくなつた。氣の早い二三人の勞働者たちは、運轉手に躍りかゝつていつた。拳を振ふもの、胸倉を捉へるもの、足を擲ふもの……運轉手は忽ちその場に袋叩きにされさうな様子であつた。

美知子は途方に暮れてしまつたするとその人々の群をかき分けるやうにして、背の高い菜葉服の青年勞働者が、割り込んで來た。青白い顔に、眼鏡が光つてゐた。

「……何だ！何をしてゐるんだ！今、下らないことにかゝりあつてゐられるやうな場合ぢやアないんだぜ！」

彼はよく徹る聲で怒鳴りつけた

十月川柳課題

十月五日〆切　「火」　高橋月南選

十月十日〆切　「佛」　片岡四迷子選　「嘘」　小倉蜂朗子選

◇用紙はがき各題別記◇一人一題五句限◇〆切守ること

満日社文藝係

満日文藝　満日柳壇

「盲」　鳥原陸足選

時之助

盲鬼兄さんらしい影を選り　撫順　俄茶坊

色盲と檢査を受けてから判り　大連　水母

一目でも見えたなればと涙ぐみ　銚子窩　松風

遊蕩を傾到させる大檢校　奉天　白雲

文盲は體よく吾子に讀ませてる　撫順　自樂

盲目の蛇味線を引く支那の町　旅順　榮丸

失明へ接觸溜はす親心　沙河口　喜良久

盲鬼附近の皆に氣をくばり　同　桂馬

探し食ひ盲になると言ひ聞かせ

明き盲子は大學も出すつもり　大連　木の葉

けしかけた盲へ母は詫を入れ

引受ける度胸があつて盲判

成績を盲の親にほめられる

滿洲日報

宮柱太しり立つ新宮に皇祖の神靈鎭らせ給ふ

昨夜、夜をこめて行はせ給ひし 内宮遷御の御儀

【東京二日發電】神ながらの皇國の國傳へに傳へ行く最重の儀式たる内宮遷御の御儀はとどこほりなく終らせられた、この日昭和四年十月二日、神路山の秋ふかく五十鈴川の水淸らかにさながら太古のごとく森嚴なる神域に於て、夕闇ほのかにせまる頃より烏羽玉の夜を籠めて行はせられた、數々の御儀の樣こそはまことに尊き極みのものであつた、かしこくも聖上陛下には勅使を御差遣遊ばされ以下參列の文武百官いづれも襟を正し頭をたれて御儀の尊崇なるにそゞろ感激したのであつた、神宮の明衣の姿もかしこし、宮柱太しく皇祖の御靈とこしへに鎭みませと祈りの聲は全國津々浦々の涯りにあふれた

聖上、庭上に下御 畏し神宮を御遙拜

秩父宮殿下を始め各皇族殿下 出御の陛下に扈從

古宮より新宮にうつらせらる皇大神宮の神儀、まさに古宮の階を地上に降立たされる、二日の午後八時、神宮を御遙拜遊ばさるべく 天皇陛下は、これに先き立つ午後七時半、折柄の夕闇深くとざし神域まこと大古の儘にある賢所に進ませ綾綺殿に入御の上、甘露寺侍從等の御介添へにていとも神々しき黄櫨染の御袍、御束帶の御祭服に御召替へあらせ、やがて本多掌典次長の御先導、關屋次官、林式部長官以下侍從同武官等供奉にて神嘉殿に出御あらせられた。秩父宮殿下を始めとして各皇族殿下にはいづれも、御正裝に威儀を正されて南庭に出御の陛下に扈從し奉る。天皇陛下には御笏を執らせ、寶劍、神璽捧持の侍從を隨へさせて假屋に入御、供奉の諸員屋外に候しまいらせば、畏くも陛下には玉座に御端座、神儀古宮を出でます八時を期して、御敬虔な御遙拜を遊ばされ約五分にわたり庭上下御にての崇祠のまことをつくさせたまふた。かくて陛下には出御に同じ供奉にて宮城に入御遊ばされた、尚皇后陛下には御服喪の爲め御遙拜の事あらせず、皇太后陛下には東御所の御内儀に於て御遙拜あらせた。

庭燎燃える神域に 神々しき遷御の儀

出御の準備は整ふ

伊勢神宮の第五十八回式年遷宮の儀中内宮遷御の儀は二日夕刻より深夜にかけて神氣一入澄み渡る神路山の宮域深くいとも森嚴に取り行はせられた、正午先づ新殿の御飾りの儀があり時移るに從つて奉拜の民衆は五十鈴川のほとり表參道の兩側をうづめ參列の濱口首相安達内相、山本大勳位、内田伯以下の文武顯官は大禮服姿美々しく續々と參入する、やがて神域の森に夕闇やうやく迫る午後四時靜寂を破つて諸員の參集を報ずる第一鼓が鼕々と鳴り渡れば神儀奉遷の大役を奉仕される勅使九條掌典長は星野掌典以下宮内屬を從へて勅使館を出で祭主、久邇宮多嘉王殿下、三條西大宮司以下祭儀奉仕の神官、供奉員、參列員等總數四百五十名は粛然と神宮齋館の前庭に參集した

續いて第二鼓 て參進の列を整

へると共に正殿、新殿の祭儀の諸具は全く携帶され、午後六時千古の森にこだまする第三鼓を合圖に參進は開始された、九條勅使、久邇祭主宮殿下、三條西大宮司、熊谷少宮司は夫々定めの祭服を着けた禰宜以下の神官百六十餘名と共に參進し供奉の濱口首相、安達内相、潮次官、池田神社局長、原田三重縣知事其他神社局、造神宮使廳高等官は衣冠の裝ひを正し參列の倉富、平沼樞府正副議長、德川貴族院議長、牧野内府、鈴木喜三郎、水野錬太郎、小橋文相、大隈信常侯、鈴木書記官長、上原元帥、一條公爵、若槻禮次郎、床次竹二郎、一木宮相等の顯官及び民間代表村山、三井、光永、岩崎、頭山、土方、本山の諸氏、府縣知事市町村長代表等二百五十餘名は大禮服又は正裝の威儀を正して之に從ひ總員靜々と表參道の白砂をかんで參進する、時に老杉の下枝を照らしてあかあかと燃える庭燎と共に神域には十六花瓣の

菊花御紋章入りの高張提灯が

一齊に點火せられて神々しさ言はん方もない、之より先き一箇大隊の儀仗兵は板垣御門外の所定の位置に整列し參進の勅使以下は第二鳥居外にて修祓を受け、進んで新宮の御前に當る參道にて、勅使

掌典、祭主、大宮司、少宮司、禰宜の順に各々榊木に木綿をつけた太玉串を受けて左右に二枚づゝ捧持し板垣南御門より參入、中重の版に着き參列の諸員は板垣御門内の定めの席に着いた、かくて先づ内玉垣御門下に太玉串奉奠の儀あり次いで九條勅使、久邇祭主宮殿下以下奉仕の神官は靜々と内院に參入、定めの版に着けば勅使九條

正殿の御階下に進んで嚴かに

掌典長は遷の御祭文を奏申し畢つて愈々渡御の儀に移る、先づ三條西大宮司、熊谷少宮司は伶人の奏樂裡に謹んで正殿の御階を昇り御宮を開き奉れば久邇祭主宮殿下、三條西大宮司熊谷少宮司及禰宜は殿内に祗候して遷御の御準備を奉仕しやがて九條勅使は御階の下東方に、久邇祭主宮殿下は西方に直立さる宮屋禰禰宜の朗々と讀み上げる召立文に隨ひ前陣、後陣の執物奉仕の神官は新調の御裝束、神寶を執つて整列、行障、絹垣を御扉の口に寄せてこゝに全く出御の準備は整つた

神儀滯りなく新殿に入御

遷御の儀畢らせらる

かくて正八時、瑞垣御門下にて天ノ岩戸の嘉例に從ひ、宮掌が扉を以て冠を三度ハタハタと叩き、宮城一體に水を打つた如き靜けさのうちにカケコウ、カケコウ、カケコウと高らかに三聲鷄鳴を唱へ奉れば勅使は御階の前に進んで嚴かに出御を三警奏請され、こゝに畏くも神儀は覆面、手袋、肩巾を着けた三條西大宮司、熊谷少宮司、慶光院禰宜に奉戴せられ、純白の絹を張り回らした

行障絹垣の内に入らせられて

本殿を出御ましました、兩儀の廊下の御道筋には御道敷の白布を敷き、儀仗兵に次ぐ先拂の宮掌二人松明を捧持する秉燭の役四人を先頭に御楯二枚御鉾二竿御靱二腰御弓二張、御劍四柄、御太刀四柄、御蓋一具の御神寶に次いで伶人十二人が御道樂の神樂歌に笛、和琴、篳篥の幽寂なる音を奏でつゝ進めば、掌典の警蹕に次いで勅使九條掌典長は大御前に先行し禰宜二十人が奉仕する行障、絹垣の内に神儀は靜々と西の新殿へと進ませ給ふ、この時庭燎高張を始め一切の燈火は悉く消され前陣後陣の松明のみ杉の幹に映じ、積翠深き宮域はしはぶき一つ聞えず森然幽寂宛然

神代ながらの淨暗の地に還り

おごそかに響く神樂歌に神氣ひしひしと身に迫るを覺える、絹垣の後には赤紫綾の御蓋をかゝげ續いて久邇祭主宮殿下供奉され、御笠、御弓、御靱、御鉾、御楯の列に次で最後に御火の役四人、宮掌二人が殿りを承り供奉の濱口首相、安達内相以下は内玉垣御門前から新宮同御門前まで之に供奉して續き最後はまた儀仗兵が御行列を護る

かくて神儀新殿に入御遊ばされ、前陣後陣並に供奉參列の諸員は新宮内の所定の位置に着けば再び召立文に依つて捧持の御裝束、神寶を殿内に奉納し、大宮司御扉を閉ぢ奉り、勅使は御階下に進んで再び御祭文を奏上され、かくて遷御の御儀は滯りなく畢らせられたので、大宮司はその旨を勅使に告げ參らせ、諸員中重の版に退き、三條西大宮司は

御鑰に封を附けて辛櫃に納め

諸員奉拜入度の後退下し、荒祭宮遙拜所に於て別宮の遙拜をなして一同退出こゝにめでたく内宮遷御の儀は畢らせられた、時に時刻は午後十時を過ぎ、表參道に於て御儀の進行を遙かに拜して居た一般拜觀者は警戒解かれるや我れ先きに新宮の御門前に殺到し、庭燎高張に照らされて白木の香も神々しい御新殿を拜し今更ながら感涙に咽びつゝぬかづいて柏手衆拜するさまは涙ぐましいばかりであつた

遷御の儀に續き翌日の御儀

神秘な御儀式の數々

二日夜内宮神儀遷御の御儀も滯りなくすませたまひしを以て三日は遷御翌日の儀として早朝午前六時新宮に大御饌奉奠の儀あり次いで午前十時奉幣の儀が行はれる、これは古來一社奉幣と稱へて遷御と共に最も重い祭儀とされ勅使奉納の幣帛を奉じて祭主、大宮司以下神官と共に參進して御祭文を奏し内院に參入して東寶殿に幣帛を納め奉り終つて五丈殿にて饗膳の御儀があつて退下される、續いて午後二時には古殿の幣帛御神寶を新殿に移し奉る古物渡しの行事あり夕刻には新宮内玉垣御門前の神樂舍に御神樂並に秘曲奉奏の儀あり勅使、祭主以下參列して神慮を慰め奉るが就中秘曲奉奏は極めて神秘に屬するもので所作人以外は神樂舍に在るを許されず參列員は一時退出することになつてゐる、これを以て内宮遷御の儀は終了させられるのである

儀仗艦伊勢灣にて奉仕

式年祭に儀仗艦として陸奧、山城日向以下第一艦隊四十餘隻昨一日から伊勢灣に碇泊して居たが、特別警備艦五十鈴之に參加し二日の御遷宮に際し御警衛の任務に當つた、尚同日之等の諸艦は全部滿艦飾を施し夜はサーチライト、イルミネーションを點じ祝意を表した尚之等伊勢灣在泊部隊は二、三、四、五の四日間毎日二千五百名宛の參拜隊を編成し參拜を行はしむる事となつた

一日朝奉天北陵見物の拓相一行

閑院宮殿下 齋藤朝鮮總督に御言葉を賜ふ

【京城特電二日發】閑院宮殿下には一日、朝鮮博覽會開會式に台臨の後、會場を御巡覽あり、御旅館に入らせられ齋藤總督を召され

大正四年、予は來りて施政五年記念朝鮮物産共進會を觀今ふたたび命を奉じて、茲に施政二十年記念博覽會に臨むこの間、時勢の進步に伴ひ朝鮮全土を擧げて著しく産業文化の發達せるを觀、欣快に堪えず異日、具してこの會の狀況を復命することあるべく、かねて當地の實績に及ばんとす、予は總督を首め官民一般、心を協せて克くこの結果を納めたるを慨び更に將來に向つて一層の奮勵努力を望む

との御言葉を賜はり、なほ巨額の社會事業御獎勵金を御下賜相成つた

日英濠の關係と 米國への懸引

日本の脅威を除かんと 濠洲側の方策

【東京二日發電】濠洲は日本海軍の脅威を英本國によつて除去されその安全を保障されることを前提として英、米内交渉の協定を基礎とする五ヶ國會議への招請狀を發することに同意し、またマクドナルド首相が日本の濠洲に對する脅威を如何にして排除せんとするかは未だ明かではないが某消息通の觀るところでは日本政府は軍縮に關しては制限よりも縮小を欲し、かねて八インチ砲巡洋艦二十一隻の米國の要求は過大に失する旨を松平大使を通じてしばしば英首相に通達してゐる關係上、英首相は米國の過大な二十一隻要求を日本の援助によつて少なくも十八隻程度に低下せしめ從つて米國に對する日本の七割保有勢力をも低下せしめ以て日本の濠洲に對する脅威を除かんとする方策と觀られると

英露國交回復 完全に協定成る

十月四日前に調印か

【イギリス、ルーイス一日發電】イギリス外相ヘンダーソン氏とパリ駐在ロシヤ大使ドブガレフスキー氏は二時間にわたる會見の後その間、外交關係の完全なる回復と共にとるべき手續に關し協定を遂げた、その内には諸種の懸案解決のため大使を交換すること及び宣傳取締に關する取極めがある右會見後ヘンダーソン外相が新聞記者に語つたところによると今回の協定につき英露兩國政府に提示すべき文書は目下作製中であり四日ドブガレフスキー氏がパリに向け歸任の途に就く前、調印できるよう取運びたいと思つてゐるとのことである、また消息通の語るところによると右協定はその實施前イギリス議會の承認を得るを要するはずであると

拓務大臣松田源治氏講演會

日時　十月八日午後四時より開催
會場　於協和會館

一、聽講希望者は往復はがきで今三日中に本社事業部宛に申込まれれば復片に入場證を捺して返送する（復片表面の宛名欄に必らず聽講人の住所氏名を明記の事）
一、滿員の際は入場申込書の本社到着順を以て決定するが、入場證は一人一枚である

主催　滿洲日報社

方振武銃殺

當時の總指揮 元は張宗昌氏の部下

【南京一日發電】元安徽省首席方振武氏は安慶事件の黑幕なりとして本日午後四時總司令部内軍法處にてピストルで銃殺された

方は張宗昌部下として山東軍第六軍第廿四師長たりしが民國十五年獨立して第五國民軍と改稱し同年八月國民軍第二軍長同年九月西北國民軍陝西侵入軍北路第五軍長同十六年六月馮玉祥の下に河南省政府委員、同年北伐に參加して國民軍第一路總指揮となり各地に轉戰して功あり同十七年二月國民政府委員軍事委員會委員等の要職に就き同年四月再び北伐に參加し五月濟南に於て我軍と衝突せる當時は第一集團軍第四軍團總指揮で日本人の記憶に新なところである

地委當選者

鞍山

【鞍山特電一日發】鞍山地方委員選擧は一日午前八時より消防館に於いて執行されたが午後四時投票を締切り五時から開票六時十五分終了した、其の結果當選者左の如し

▲一五五票增田直次▲一四四票仲義輔▲一四二票星原實▲一三九票野毛四郎▲一二七票古江茂樹▲一一三票三重野勝▲一一二票三浦源七▲一〇三票山崎英武▲七六票石川義助▲三九票權藤喜彦

安東

【安東特電一日發】安東區地方委員選擧は既報の如く十月一日午前八時より滿鐵社員、朝鮮人及び中國人は五番通り幼稚園其他は公會堂に於て何れも各係立會の下に執行された、午後四時投票を締切り同六時開票、午後八時四十五分全部を終つた其の結果當選者は左の如く決定した

▲二九七票中島三代彦▲二六八票大津俊▲二一七票金井佐次▲一八〇票高橋貞二▲一七八票千葉凱雄▲一四七票藤平泰一▲一三八票井元德助▲一三一票荒川六平▲一一八票水間議之助▲八三票金虎贊▲六四票孫玉寶▲五一票馬古鑑▲四四票徐鐵珊▲三七票朴文祚▲二八票櫻井良三

鐵嶺

【鐵嶺特電一日發】當地方委員選擧は開票の結果當選者左の如し

▲七六票小野健治▲六一票大倉友次郎▲六〇票磯谷新吉▲六〇票末廣榮二▲四八票山田梓藏▲四〇票宗石三四票大關錄夫

遼陽地方委員

【遼陽特電二日發】地方委員の選擧の結果左の如し

中村信(一三二)古所壽一(一一三)田中幸英(九〇)福田又司(八七)谷口七郎(七七)行田友次郎(七六)青山一雄(七一)福永高助(六一)猿渡源藏(五三)槇屋竹盛(四二)

奉天地方委員

【奉天特電二日發】奉天地方委員改選の結果當選者氏名左の如し

椎野鋒太郎、藤巻俠致、井上秀三郎、鯉沼忍、大西榮吉、永田助吉郎、山本讓幹、北爪宣隆、佐奈木卯次郎、坪川與吉、石川鐵吉、鷹尻彌太郎、木谷辰巳、萩原昌彦、賈雨園、安倍要藏、尾崎濟、赤塚直清

支那側の案内で 監禁露人を視察

ソー問題となつた生活狀況を

【ハルビン特電二日發】行政府長官公署員の案内で在哈日本新聞記者中山大朝、小林大毎、本橋電通、藤本聯合、藏土哈日、大森哈通その他一行十名は藏本總領事と共に二日午前十一時半長官公署に集合し松浦鎭に監禁されてゐるソウエート人民一千百餘名の生活狀態を視察したソウエート政府はドイツ領事を通じ彼らを全部本國に送還するやう交渉した由であるが支那側としては治外法權撤廢を列國に要求せんとする際なれば監禁者の待遇について最近改善をしたといはれてゐる

松田拓相 炭礦を視察

山西炭礦長の案内で 記者團とも會見

【撫順特電二日發】松田拓相一行は二日午前十一時五分、奉天より來撫、途中、深井子驛まで出迎へた山西炭礦長の案内で驛待合室にて撫順官民有志ならびに大分縣人會等の挨拶を受けた後、直に自動車にて古城子露天掘に到り採炭狀況につき炭礦長の説明を聽き正午炭礦ホテルにて記者團と會見、別項の如き談話を試み中食少憩後、二時より製油工場を觀察し二時四十五分より約一時間、實業協會における大分縣人會に臨み午後三時五十五分發、列車で奉天へ引返した

撫順炭礦の規模の大きいことを實地に見聞し得るところがあつた製油事業は燃料の自給策として結構である成績次第では第二計畫を認めぬでもない、政變毎に植民地の首腦者が更迭するのは困ると聞くが更迭を餘儀なくせしめるやうな人物はやむを得ぬ適任者なら勤續してよい殊に滿鐵の如き事業會社の理事などは替へぬがよい、奉天では張學良氏と旣に二度あつたが若くて聰明なのに感心した

歡迎晩餐會

支那側から張學良氏も出席 約二時間に亘り會食

【奉天特電一日發】松田拓相一行は一日午後七時半支那側張學良、翟文選兩氏の招請を受け會議十數分間で直に總領事館官邸に於て催されたる晩餐會に臨んだが、臨席者は松田拓相を主賓に岸秘書官、山成拓務部長、鈴木鐵道事務所長、村田聯隊長、三谷憲兵分隊長、守田居留民會長、乾奉天署長それに林總領事を初め各領事、支那側は張學良、翟文選、臧式毅、莫德惠、袁金鎧、王樹翰、陶尚銘の諸氏それに王交渉署長、宋日本科長等三十餘名に達し七時二十分から約二時間に亘り懇談的晩餐をなし九時過ぎ散會した

人事

△岸田劉生氏（洋畫家）二日入港のうらる丸にて來連星ヶ浦ヤマトホテルへ

安樂椅子

ハルビンの張景惠行政長官、監禁中の赤露犯人を虐待するなどといはれては迷惑千萬とあつて、日本側の記者團を招し、かくの通りと大見得を切つた▲治外法權撤廢といふメトもあるので、へタなことは出來ぬと大童となつて掃除やら、御馳走に努め、寒空に向ふ北滿で、こんなことなら萬更でもない、支那監獄の御厄介にならうなどの不心得者を出さぬでない、白系露人たなどと頑張つてゐるよりはなどの氣を起さすは、餘り感心できぬがとにかく支那側の官憲と來たら、努力するにはするが、しかし露國獄の狀況を日本の記者團に拜見さして、治外法權撤廢などとは、少し虫がよすぎる▲何といふても、この赤露の手合、どんな裁判で、どんな刑罰に處せられるも分らず今のところは露支交渉を氣取する人質みたいなものさと個面目に相手にされぬところは氣の毒といふものだ

受難時代の政友會 後任總裁は何人に

帶に短く襷には長して決せず 表面は平靜を装ふ

【東京二日發電】政友會後繼總裁問題は黨内の大勢が犬養氏を擁立するに傾いてゐるがいよいよ現實問題として之を冷靜に判斷するときは、なほ幾多の難關が橫たはつてゐる、すなはち

犬養氏を後任總裁に推す名目は兎もかく暫定的であることは蔽ふべからざる事實である、而して若し犬養氏が單に目前の便宜主義、功利主義的見地から一時的の平和を得んために出馬を求むるは政友會の長老に對し非禮なるのみならず政友會の前途にも得策にあらず

況んや今日の政局は濱口内閣を大敵として控へ近く總選擧により、これと一大決戰を交へんとする重大時機に直面して居りこの場合、單に消極的平和を求めんため犬養氏を煩はすことは實戰に臨み味方の士氣を阻喪せしめ勝敗の上に重大影響を齎すべきことは明かである

この意味において總裁問題は眞に政友會の統帥者として活動力ある鬪士を求めその人によりて實質的に黨の更生を圖り濱口内閣に對抗して正々堂々たる新陣容を整へねばならぬ

といふのである、この主張は眞に政友會の前途を憂慮する黨本位の意見であり舊政友會系の人の潛在意識に多くここにあるやうである

總裁問題に關する黨内の意見は皆それぞれの立場によつて、その主張を異にし中にはその動機の不純なるものさへある程であるが結局この黨本位の主張が勝利を占めるに至るのではあるまいか舊政友會系の長老岡崎邦輔氏の如きは今日なほ遠慮なく床次氏を後繼總裁として推稱してゐるのであるが舊政友會系は一致して床次氏を支持する傾向がある、この政友會の中樞勢力を形成する舊政友會系たる岡崎、山本(條)、望月、山本(悌)、前田、粕谷氏らは目下、表面、極めて平靜を裝ひ形勢の推移を傍觀しつゝあるも一度、總裁問題につき發言するに及んでは或は意外の形勢を來しはせぬか、なほ床次氏が最近、舊新黨系に對し固く總裁問題に關する策動を戒めたるは大いに黨内の同情を惹いてゐる

床次竹二郎氏

鈴木喜三郎氏

床次、鈴木、中橋氏等 實力派を擁立か

貴族院側の觀測

【東京二日發電】政友會後任總裁は犬養擁立說が盛に行はれてゐるが貴族院側は受難の時にある政友會は結束を維持するに最も都合よきときであるから姑息的に犬養氏を擁立することを避け床次、鈴木中橋氏ら實力派中より後任總裁を出し更始一新を圖るべしとしてゐる

犬養長老は餘りに老ゆ

暫定總裁も考物と

【東京二日發電】政友會後任總裁は依然、犬養氏擁立說、强きも、それは目下のところ左の如き理由により絶望的といふを得ない、すなはち

金權政治を傳統とする大政友會を統帥し來るべき第五十七議會に際しては直に總選擧に臨まねばならぬ、しかも今度の總選擧は政友會死活の岐るゝところであるから莫大な軍資金を要するが犬養總裁の下に果して萬全を期し得るか

新時代に更生を期せんとする政友會が犬養氏の如き老人をわざわざ拉し來つて國民に見えて如何なる反響を贏ち得るや

犬養總裁は結局、暫定總裁たるを免れぬが内外時局、重大の際暫定總裁を設置するが如きは反對黨に乘ぜしむる機會を與へ禍根を將來に貽すものである

これらの諸點が犬養氏により重大弱點でそこに床次、鈴木、中橋、久原氏ら諸勢力に活動の餘地を與へその動きは頗る微妙を極めてゐるから最後の決定までには相當紛爭を見るは明かである

時の人 犬養毅氏

ゆうべ大連市民の神宮式年祭遙拜式

午後七時三十分莊重嚴肅裡に大連神社で擧行さる

神宮式年遷宮祭の當日なる二日大連神社では早旦社頭を淸めて式場を辨備し新饌を舗き案を立つるなど設備萬端とゞこほりなく整頓して時刻を待ち、夜に入りて先づ修祓の儀あり旋て定刻の午後七時三十分となるや宮司以下神職一同所定の座に着けば田中民政署長、石本市長、大平滿鐵副總裁其他官民有力者、氏子總代等參列員一同所定の座に着席、宮司遙拜詞を奏し終つて玉串を奉りて拜禮し、續いて神職一同列拜、次で參列員總代玉串を奉献して拜禮、參列員一同列拜し終つて莊重嚴肅裡に目出度式を終了したのは八時過ぎであつたが、一般市民の參向遙拜する者引も切らず同夜十時頃まで昨日來の秋祭を兼ねた參拜者で賑はつた

捜査は第二段に移り大連署必死の活動

巧みに警戒網を潜り逃亡する警官射殺事件犯人

千代田廣場に於て潜伏警戒中の吉田巡査を射殺し更に野田巡査に重傷を負はせて逃走した兇賊に對して大連署では一日午後三時一部の警戒を解き出動警官に

睡眠時間 を與へる一方星司法主任は同六時小崗子署猪俣司法主任と刑事室で地圖を擴げながら約一時間に亘つて密議を遂げ刑事および刑事巡捕を召集し炊き出しの夕食後人を避けて何事か秘命を授くる處あり、その上同八時から再び全署員の非常召集を行ひ自動車、トラック、オートバイ等を飛ばし皆緊張した面持で決死の活動を開始した

三十日夜事件突發と同時に寺兒溝より老虎灘にかけて十重、二十重の

包圍を なし一日午後三時迄にかけて寺兒溝より老虎灘にかけ背面一帶の山林捜査の結果事件は第二段の捜査に入つたもので、高山署長も自ら出馬して署員を激勵する處あり、萩野谷小崗子署長も大連署に高山署長を訪問し捜査上種々打合する處あつたが午後十一時迄にはまだ逮捕に至らなかつた

尚貔子窩管内視察の太田長官を見送つた普蘭店牧田警務課長は態々大連署を訪れて

殉職巡査 に對し弔意を表して同夜普蘭店に引返した

澄宮殿下 御祝詞言上

【東京二日發電】皇后陛下御慶事御祝のため澄宮樣には二日午前九時半自動車にて宮中に參内天皇陛下に御對面皇后陛下御安産の御祝詞を言上せられ更に御産室の一部皇子室に在ます第三皇女樣と初の御對面の上十時半御退出になつた、又同時刻北白川宮大妃、竹田宮大妃兩殿下も御參内兩陛下に御祝申上げられた

旅順潜入を嚴重に警戒

瀧署長が大連から歸旅し旅順署俄かに活動

旅順署では三十日夜の大連市に於ける警官射殺事件に關して一日旅順署長は桑村司法主任、島貫刑事部長を隨へ赴連し實地檢證を行つた結果、果然最近旅順刑務所を出獄せる某支那人に對する疑ひ濃厚となつたもの、如く一行の歸旅後、旅順署では市の内外に所謂三段構への水も洩らさぬ警戒網を張り多數の私服を伏せて徹宵警戒を行ふことゝなつたが、右は容疑者が旅順附近の地理に精通し居り大連より脱れて旅順に潜入する可能性多分にある爲めであると

寫眞說明

（上）大連ロータリー倶樂部發會式にのぞむべく二日うらる丸で來連した東京外六大都市の内外同倶樂部員の一行

（下）華々しく同船で乘込んだ美形揃ひの天勝一行

和田課長來連弔慰 現狀を踏査

關東廳和田保安課長は一日十四時四十分着列車で來連、大連署高山署長より右事件に關し詳細なる狀況顛末を聽取した後、高山署長の案内で兇行の現場を踏査し大和町二十三番地に殉職吉田巡査の家族を慰問し弔意を表し歸途滿鐵醫院に立ち寄り更に重傷の野田巡査を慰問して署に引き揚げ、刑事室に於て星司法主任より捜査の狀況報告を聽き刑事一同を督勵する處あつた

尚同課長は貔子窩管内視察から二十時卅分着列車で歸連する太田長官を驛まで出迎ひ事件の發生顛末並に捜査狀況を報告し長官一行と共に自動車で歸旅した

眞犯人はまだ市内に居る

死力を盡して檢擧する 高山大連警察署長談

大連署巡査射殺事件犯人は一日夜の非常警戒網にも遂にかゝらず全署員の死力を盡す捜査も効なく或ひは事件も迷宮に入らんかとさへ懸念され同僚の不慮の慘事を悼む署員も連日不眠不休の警戒に漸く疲勞の色を招致せんとして來た、高山署長は二日の休みも午前八時から出署し九時より巡査部長以上の

全幹部を 會議室に集め今後の捜査方針を協議するところあつたが正午その終了と共に氏は大要左の如く語る

射殺された吉田巡査の署葬が四日午後三時半からであるからそれまでには是非犯人の逮捕をしたいと全署員は不眠不休で捜査に努力してゐるが今日まで未だ何等の情報がない、不幸葬儀までに逮捕を見なくともこの犯人だけは死力を盡して檢擧する決心である事件發生後既に二日を經過しただけ捜査範圍が擴大し逮捕には幾分困難を感ぜないことはないが未だ犯人は市内に

潜伏して ゐるものと目星をつけてゐる、目下の處警戒網は勿論擴げてゐるが犯人の人相が大體判明してゐるので大連市から外部へ逃すことは萬々なからうと思つてゐる、事件當夜同一箇所で野田巡査が誰何逮捕した某支那人は取調べの結果犯人とは何等關係はないやうであるが未だ釋放には至つてない、犯人の捜査方法も第二段に入つた關係上全署員をその犯人逮捕に集中するわけにはいかないから司法及高等の刑事に主として努力して貰ふことゝし時に應じて全勢力を順援せしむべく休養も與へねばならないと思つてゐる、また一方新たな犯罪を起させないことが大事であるため

派出所員 は派出所員の任務に專念して貰ふ積りである、然し吉田巡査殺しの犯人に對しては依然として小崗子、沙河口水上の各署と連絡をとり遺憾なく捜査に當ることは勿論である

非常な共鳴歡迎裡に緊縮運動の具體化

旅大首腦者及び地方所長を中心に委員會組織

關東廳及び滿鐵が主體となつて大々的の緊縮運動をやるといふ滿洲公私經濟緊縮委員會の創立準備は既報の如く着々として進捗しつゝあり一日水谷地方課長は大連市に出張、山崎滿鐵文書課長、田中民政署長、石本市長、櫻井遞信局長、村井商工會議所會頭及び寶性大連高柳本社長等と會見して委員會の設置に關し

協議して 歸旅、一方旅順市内には吉本廳長をして同樣民政署長市長其他と會見せしめ具體的準備を進め創立第一段の運動を開始したが旅大各地とも右緊縮運動は從前と異り各方面に於て餘程眞劍味を以て考へられて居り委員會の創立は非常なる共鳴歡迎を以て迎へられて居り殊に滿鐵社員會等の氣運が近時頓に之に向へるは最も力強いことで今回の緊縮運動こそは必ずや

眞の効果 を收むべしと謂はれてゐるが、關東廳では先づその第一段として旅大主腦者を以つて中央委員會を組織し次いで沿線各地に於ける地方事務所長を中心とせる地方委員會その基準となる部落實行會と順次委員會の體系を整へかくて中央、地方相呼應して緊縮の徹底的實行を促す筈であるが中央委員會創立準備會は本月十五日關東廳に於て開會の筈である

日獨兩軍のメンバー決まる

濱田四百米に出場

【東京特電二日發】日獨對抗陸上競技は五、六兩日神宮競技場に於て開かれるが兩軍のメンバーは一日左の如く決定した

△百米 （日）阿武、南部（補缺）吉岡、大澤（獨）エルドラッヘル、ウヰッヒマン

△二百米 （日）甲島、西（補缺）吉岡、大澤（獨）エルドラッヘル、ウヰッヒヤン

△四百米 （日）中島、濱田（補缺）木内、岡田（獨）エンゲルヘルト、ストルツ（補缺）ペルツア

△八百米 （日）濱田、岡田（補缺）矢柴、久富（獨）ペルツア、エンゲルハルト

△千五百米 （日）北本、津田（補缺）藤木、久富（獨）ボルッエ、ビュッヘル

△五千米 （日）北本、津田（補缺）岸（獨）ボルッエ、ディックマン

△高障碍 （日）三木、黄（補缺）島織田（獨）トロスバッハ、ワイス

△八百米リレー （日）吉岡、西、南部、中島（補缺）大澤、阿武（獨）エルドラッヘル、ウイッヒマン、ワイス、シュトルツ

△スエーデンリレー （日）大澤、阿武、吉岡、濱田（補缺）中島、西（獨）シュトルツ、エンゲルハルト、ウイッヒマン、エルドラッヘル（補缺）ペルツア

△走幅跳 （日）南部、織田（補缺）飯室、外山（獨）キュッヘルマン、ラデウッヒ

△走高跳 （日）木村、小野（補缺）能勢、織田（獨）ラデウイッヒ、ウエゲナー

△棒高跳 （日）西田、金盛（補缺）織田、望月（獨）ウエゲナー、ケッヘルマン

△砲丸投 （日）高田、齋藤（補缺）沖田（獨）ヒルシエフエルト、ワイス

△圓盤投 （日）板橋、齋藤（補缺）沖田、久内（獨）ヒルシエフエルト、ワイス

△槍投 （日）住吉、菅沼（補缺）家永、伊藤（獨）モレス、ラーデウイッヒ

文字通りの白熱戰

先づ今回發表になつたメンバーで眼に止まるものを列擧すると四百米突で第一回發表の際に漏れてゐた滿洲の濱田が入り補缺の中島が正選手となり千五百で津田が正選手となつてゐる事であるがこれは三人の實力から見て當然と言はねばならぬ、棒高跳で三米突九〇餘を跳ぶと言ふ織田が補缺となつて金盛が更はつてゐる、もし織田が日獨豫選での負傷が全癒しないためであるとすれば日本に取つては可なりの打擊であると金盛の實力が織田以上であつたものとすれば優勝確實となつたわけであるドイツ側ではベルツアーが千五百に名を現はさず四百でも補缺となつてゐるが同軍の自信の程が偲ばれる何れにしても高障碍に勝つて短距離に喰込めば文字通りの白熱戰となるであらう

警官の昇給案外少なかつた

巡査は平均一圓五十錢 巡捕は一圓四十錢見當

關東廳では三十日附管下各警察署に於ける巡査及巡捕の定期昇給を行つたが、今期の昇給者は巡査千九百二十五人中八百十五人昇給總額千二百十九圓一人平均一圓五十錢で巡捕は七百一人中昇給者百九十七人總額二百八十五圓平均一圓四十錢であるが、一般に今期の内申數から見れば千二百人位は昇給あるものと見られてゐたのに意外に少く漸く千人に過ぎなかつた

日英交驩の音樂劇團演奏會

英艦サ號乘組員を迎へて四日夜協和會館で

英國巡洋艦「サッフオーク」號音樂劇團演奏會は昨年十月その第一回を協和會館に於て開催したるが海の勇者達の全くアマチュアの域を脱せる興趣横溢、優秀非凡の藝術は來會者に多大の賞讃を博したると同時に其の收益三百餘圓は擧げて之を海員慰安事業に寄附し、しかも此寄附が動機となりて最近關東廳及滿鐵會社の援助の下に大連在住内外人有志の手に依りて國際海員クラブの設立を見るに至つた、今回再び同艦の入港を機とし同艦長の快諾を得て其の第二回演奏會を來る四日午後七時半より協和會館で開催し英國生ッ粹の藝術を大連市民に紹介することゝなり純益金は前例により全部海員慰安事業に寄附し以て日英交驩の實を擧げやうといふ趣旨に贊同し多數の來會を希望してゐる

天勝一行五十餘名昨日華々しく來連

「皆樣を驚かせて見せます」と大元氣な御大天勝師

本社後援の下に二日當地歌舞伎座に於て初日を出す天勝一行内外人男女取混ぜ五十一名の大團體は二日入港のうらる丸にて華々しく來連した、埠頭には村上演藝部より織花環其他多數出迎へ人待受け間も無く擬樹濃厚な女優連を取卷いて絢爛たる時ならぬ花の美しさに賑はつた、船中に於ける紗の黒紋付に身を包み寄る年波を

男勝り の精力と白粉の下に隱した御大野呂勝子さん事天勝師は元氣好く語る

又御厄介になります珍奇な物つて？今度はどれもこれも飛切りの新しい物許りですよ、皆樣をあつと驚かせるのを今から樂しみにしてゐます、特にヘンリー松尾の空中曲藝はアメリカでも大持てでした是非御覽下さい何と言つても澤モリノなんかは今日本では一流の舞踊家ですから、私ですか、是で未だ振袖を着るんですから相變らず元氣ですよ

と記者を煙に捲いて女共集まれ！と號令かけて

カメラ の前に立つ大分揃値のある船客名簿の四十三歳にも却々見えない潑剌たる君さだ[illegible]

增田次郎氏保釋出獄

【東京一日發電】大同電力社長昭和電力社長增田次郎氏は二十六日以來市ヶ谷刑務所に收容されてゐたが、一日保釋を許された

柳樹屯遠足會申込本日締切

大連市役所主催本社後援の柳樹屯遠足會はいよ／＼來る六日の日曜日午前七時四十分大連驛發の列車にて出發する筈であるが右に對する參加申込は今三日限りであるから大連市役所勸業課若くは會員係へ申込まれ[illegible]

愛慾の窓 (118)

戸川貞雄作　淺枝次朗畫

結婚 (一七)

美知子は一歩々々大地を靴の底に踏み占めるやうにして電車通りへ出ると、通りがゝりの圓タクを駐めた。

「……帝國ホテルまでやつて頂戴な」

さう命じて、彼女は坐席に腰をおろした。腕の底の方が、くらくらと煮え立つてきたやうだ。嫌臭い息が、渇いた咽喉の奥から口腔へげぶげぶと溢れて來る。彼女は手帛を口にあてながら、何とも云へない不快な臭氣をこらへてゐるのだつた。

自動車は雑沓の巷を、神田のみさき町の裏通りへと外れて、やゝ速力を進めつゝあつたが急に灯影が暗くなつたと思ふと鳥渡にがくんと急停車した危ふく車中の美知子は座席から前踣りにのめるところであつた。ハツとしながら車の扉につかまつて見透すともうその時には彼女の自動車は一團の人に圍まれてゐるのだつた。

「……引摺りおろせ！」

「女だ！このモダーン奴！挨拶しろ！」

「何とか云へ！何をぼんやりしてゐるんだ！」

罵聲が、礫のやうに彼女に向つて注がれてきた。

「……何うしたの？運轉手さん」

美知子は眉をひそめながら、運轉手に訊ねかけた。運轉手は、しかしもう引摺りおろされてゐるのだつた。

「……降りろ！邪魔！」

「引摺りおろしちまへ！」

扉は荒々しく引開けられた。美知子はもう車内に止まつてはゐられなかつた。不穏な氣配が身に迫つてゐた。

降り立つと、それは或る工場らしい建物の前であつた。高く點つてゐる門燈に照し出されて「小森鐵版・第二工場」といふ標牌の文字が見えた。

——おゝ、小森鐵版！先だつてじうから勞働爭議でごたごたしてゐるうちの會社だわ！

「……小森鐵版ですね？こゝは」

と、美知子は自分を取巻いてゐる勞働者等の群を見廻した。

「……さうさ！しかしそれが手前に何の關係があるつて いふんでえ」とドンゴロスの勞働服を纏けた髯面の一人が怒鳴り返した「……お前さんに關係のあることはね……お前の自動車が、この小僧ッ子を轢き倒したツてことだけさ！」

一人の少年が、美知子の前に突き出された。青い菜葉服に、黒い鳥打帽を阿彌陀に被つた印刷油とインクに塗れた十五六の少年勞働者であつた。彼は泥まみれた顏を手で覆うて頻りに泣きじやくつてゐたが、手の隙間からそつと美知子の顏を偸み見ると、俄にくたくたと地面に膝を突いてしまつた。

「……痛え！痛え！膝あ……それから向脛も……右の腕も……痛ッ痛くつて……」

と、少年は悲鳴を擧げはじめた。

「……すみませんでしたね、ね、運轉手さん、何うしませう？」

と、美知子は場合が場合なので、すつかり困惑してしまつた。

「……どうもしようがありませんな、此方だつてちやんと定規のスピードで歩いてたんだし……だしぬけに横からその子が飛んで出たのですからね」

中腹らしく、運轉手は聲を尖らせた。

「何を！……」

「ふざけた言をぬかしやがつたッ！」

美知子の手前やゝ靜まりかゝつた空氣は、運轉手の腹立ちまぎれの言葉のために、忽ち荒々しくなつた。氣の早い二三人の勞働者たちは、運轉手に躍りかゝつていつた。拳を振ふもの、胸倉を捉へるもの、足を拂ふもの……運轉手は忽ちその場に袋叩きにされさうな樣子であつた。

美知子は途方に暮れてしまつた。すると人々の群をかき分けるやうにして、背の高い菜葉服の青年勞働者が、割り込んで來た。青白い顏に、眼鏡が光つてゐた。

「……何だ！何をしてゐるんだ！今、下らないことにかゝりあつてゐられるやうな場合ぢやアないんだぜ！」

彼はよく徹る聲で怒鳴りつけた

十月川柳課題

十月五日〆切　「火」　高橋月南選

十月十日〆切　「佛」　片岡四迷子選

「腹」　小倉蜂朗子選

◇用紙はがき各題別記◇一人一題五句限◇〆切守ること

滿日社文藝係

滿日文藝

滿日柳壇

「盲」　鳥原陸足選

時之助

盲鬼兄さんらしい聲を選り　撫順　鐵茶坊

大連　水母

色盲と檢査を受けてから判り　鶏子窩　松風

一目でも見えたなればと涙ぐみ　奉天　白雲

文盲は體よく吾子に讀ませてる　旅順　自樂

盲目の蛇除線を引く支那の町　旅順　榮丸

失明へ按摩智は爭親心　沙河口　喜良久

盲鬼附近の者に氣をくばり　同　桂馬

瞎し食ひ盲になると言ひ聞かせ

明き盲子は大學も出すつもり

盲けしかけた盲へ母は詫を入れ　大連　木の葉

盲判引受ける度胸があつて盲判

成績を盲の線にほめられる

農村へ珍らしい福音

金肥を半減し或は使はずにあらゆる農作物の増收が出來る

農家の肥料問題に就て八釜敷い近頃、茲に農沃素と云ふ農家にさつて喜ぶべきものが發明された。この農沃素を使用して肥料の自給法を行へば、今迄使つて來た何百圓と云ふ金肥は殆ど半額で足り使用法の宜敷を得ば金肥を使はずに濟むと云ふのである。更に農沃素使用者の報告に依と農沃素肥料は農作物に施して驚くべき増收が現れると云ふ事である。其一例として米作で今迄五俵より取れなかつた水田より十俵と云ふ二倍増收を擧げた者、麥作で三石より取れなかつた畑より六石の大増收を擧げた者、其他に蔬菜で十割以上も、桑園で五割六割も増收を擧げた者が全國的に澤山ある。農村不況の今日、金肥を節約し増收をも得らるゝ事は、實に農界への一大福音ではあるまいか。されば今日かゝる偉大の發明あるを知らざるは農家の一大損失なれば尚詳しくは發明者である東京小石川大塚仲町四一日本土地改良研究所宛照會するがよい。同所宛ハガキで申込ば農沃素に對する詳細説明書や實驗成績書等の參考書類を無料配布する筈である。